



— あなたと市議会を結ぶ —

やまがき市議会だより

53号

平成22年 5月10日発行

発刊/津山市議会 津山市山北520 (TEL 32-2140) (FAX 32-2160) 編集/広報調査特別委員会

津山市議会ホームページ <http://www.city.tsuyama.lg.jp/index.cfm/23,0,177.html>
津山市議会Eメール gikai@city.tsuyama.okayama.jp

目次

- 2～5面 こんなことが決まりました
- 6～10面 こんな声をお届けしました
- 11～14面 常任委員会委員長報告
- 15面 委員長報告に対する反対討論など
- 16面 人事案件、3月議会に提出された請願の審査結果、市民からのご意見、編集後記など

3月定例会のPoint

3月定例会は、津山市政にとって歴史に残る議会でした。2月21日は市長選挙で、同日投開票され、新人が当選しました。翌22日の「議会運営委員会」において、3月定例会の運営などについて協議しましたが、現職市長から「3月1日付けをもって退職したい」旨の申し出があり、本会議の運営内容を変更することとなりました。

そして、3月1日の本会議開会日に、現職市長からの退職の申し出を議会が同意、翌2日から「新市長が就任」となり、市政への所信すら「述べる時間もなく」、簡単な「就任のあいさつ」のみを行うという事態の中で、3月定例会は始まりました。

さらに、3面で紹介していますが、初日には「国策」である

「きめ細かな臨時交付金事業」（約4億2千万円）について、委員会付託を省略して、本会議で審議し、全員一致で可決されました。そんな、慌ただしさの中で始まった議案質疑・一般質問では、質問者が通常より「やや少ない」18人で、計4日間で行われました。3月定例会は、市長選挙の関係もあり、新年度の「骨格予算」が提案され、その他議案を含めて、25日まで審議され、閉会となりました。

新市長は、6月定例会で、市長としての市政運営の根幹である「所信を表明する」と言われており、その点では、6月定例会から新市長と議会の「政策論議の本格化」ということとなります。